

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-①	子育て支援事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	介護福祉課	事業実施 (予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	育児サポーターを養成し、地域の中で子どもを預けられる仕組みを支援し、安心して子育てできる環境を整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	517	2,516	2,558	2,701	
		(b) 予算現額	517	2,523	2,419	2,691	
		(c) 増減額 (b-a)	0	7	▲ 139	▲ 10	
		(d) 前年度繰越額	-	-	-	-	
		A. 計 (b+d)	517	2,523	2,419	2,691	
	B. 執行済額		489	2,523	2,342	2,609	
	うち交付金充当額		391	1,455	1,874	2,087	
	次年度繰越額		-	-	-	-	
	執行率 (%) (B/A)		94.6%	100.0%	96.8%	97.0%	
予算の状況の説明		適正な予算措置であったと考える。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	スキルアップ研修:1回 会員相互の交流会:1回	目 標	()	()	(1回)	(1回)	
		実 績			1回	1回	
	育児サポーター養成講座開催:1回	目 標	(1回)	(1回)	(1回)	(1回)	
		実 績	1回	1回	2回	2回	
達成 状 況 説 明	当初の予定どおり、スキルアップ研修、会員相互の交流会を実施することが出来た。 また、育児サポーター養成講座は1回の開催を予定していたが、地域からの強い要望もあり、講座を追加開催した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	養成講座修了者数:6名	目 標	(0名)	(18名)	(6名)	(6名)	()
		実 績		6名	10名	12名	
	会員相互の技術向上を図る研修会/交流会の参加:10名	目 標	()	()	()	(10名)	()
		実 績				14名	
	進 捗 状 況 説 明	育児サポーター養成講座を追加開催したこともあり、当初目標としていた掲げていた養成講座修了者数を達成することができた。 また、会員相互の技術向上を図る研修会及び交流会についても目標以上の参加者を募った。 講座、研修会及び交流会により会員を増加させることができ、子育て環境がよりよくなった。 また、交流会時に情報交換等を行なうことで会員同士で現状認識や環境改善策等を検討し、更なる子育て環境向上に繋げるきっかけとなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	子どもを預ける「お願い会員」と子どもを預かる「おたすけ会員」との相互の関係を取り持つ本事業は、主にお願い会員の需要はまだまだあると思われる。その一方で、沖縄の所得状況を考えると、お願い会員側にとっては1時間あたり600円から700円とそう安くない料金設定のため、頻繁に利用するには厳しい面がある。	利用者増加に向けて、1回あたりの利用料金について再度検討したい。(利用料金について補助金等の制度活用など、新たな料金設定方法を模索する。)
今後の取り組み方針		
新制度により「子ども子育て支援交付金」の適用が見込まれたため、今後は別財源に移行する予定。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>2,609</td><td>2,609</td><td>2,087</td><td>522</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,609	2,609	2,087	522	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,609	2,609	2,087	522	0										
竹富町 2,609千円 委託料 2,472千円 需用費 39千円 役務費 50千円 補助金 43千円 負担金 5千円 NPO法人ていんくるやいま 2,472千円 有限会社 八島印刷 39千円 一般社団法人 女性労働協会 50千円 講座受講生1名 43千円 沖縄県ファミリーサポート負担金 5千円 ファミリーサポート事業委託料 印刷製本費 パンフレット作成 ファミリーサポートセンター 補償保険料等 養成講座受講生 渡航費補助金 沖縄県ファミリーサポート負担金														
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は随意契約であるが、実績、知識等を勘案し、規則に沿って選定している。選定については妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・見積書により予算積算。適正規模であった。											
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・講座受講料を受益者負担としている。受講に係る渡航費は事業目的達成のための必要経費として補助金支出した。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目、使途については、必要経費の支出等検査により適正であった。											

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-②	妊婦支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ	
担当部課名	健康づくり課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実	
事業内容	妊婦が安心して出産が迎えられるよう妊娠出産にかかる経済的負担軽減を図るため、妊婦が船舶及び航空機を利用した場合における運賃並びに出産待機宿泊費について支援する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,374	2,901	3,300	2,403	
		(b) 予算現額	1,330	1,736	2,776	2,824	
		(c) 増減額(b-a)	▲ 1,044	▲ 1,165	▲ 524	421	
		(d) 前年度繰越額	—	—	—	—	
	A. 計(b+d)		1,330	1,736	2,776	2,824	
	B. 執行済額		882	1,670	1,563	2,451	
	うち交付金充当額		705	1,336	1,250	1,960	
	次年度繰越額		—	—	—	—	
	執行率(%) (B/A)		66.3%	96.2%	56.3%	86.8%	
予算の状況の説明		・適正な予算措置であったと考える。 ・増額(421千円)については、妊婦の増加及び申請数の増加により予算不足となった為。 ・執行率(86.8%)の理由は、年度途中で船賃改定があり、軽減された為。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	妊婦旅費支援人数:50人(350回)	目 標	(200回)	(840回)	(60件)	(50件 350回)	
		実 績	189回	334回	48件	48件(377回)	
	妊婦宿泊支援人数:20人(400日)	目 標	(200日)	(400日)	(25件)	(20件 400日)	
		実 績	290日	429日	12件	26件(549日)	
達成状況説明	妊婦の経済的な負担軽減を図るという事においてはおおむね目標を達成できたと考える。 周知徹底を行なっているが、利用を必要とされない方もおり、活動目標の旅費支援人数50人を達成できていない状況である。 今後も多くの妊婦が活用できるよう周知活動を充実させたい。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	・妊娠中に母子共に健やかに過ごせる環境及び安心して出産できる環境の確保	目 標	()	(環境の確保)	()	()	()
		実 績		目標達成			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・母子手帳交付時等に説明を行っているが、転入者等へも周知を徹底していきたい。 ・63人へ母子手帳を交付しており、50人の申請に対する支援であるが、おおむね目標を達成できたと考える。今後もさらに周知に努める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・宿泊費について、交付対象が36週以降となっているので周期の確認を徹底する。 ・36週以前に出産し待機宿泊する妊婦は対象から外れているが、子が未熟児である場合、母親と一緒に退院出来ない場合がある。先に退院した母親は宿泊施設に滞在しながら病院に通うことになり、経済的、肉体的、精神的にも大きな負担となっている。	・宿泊費補助について、申請された領収書等から平均額が見込みより高いことから、今後宿泊費の増額を検討する。
今後の取り組み方針		
・転入した妊婦の方等への事業の周知活動。 ・妊娠出産に係る経済的負担の軽減が図られることから、今後も事業を継続する。 ・早期出産した妊婦に対する宿泊費補助についても検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,451	2,451	1,960	491	0

竹富町
2, 451千円

⇒

負担金、補助金
及び交付金
2, 451千円

⇒

妊婦 48名
805千円

妊婦 26名
1, 646千円

妊婦健診運賃補助 48件 377回

妊婦待機宿泊費補助 26件 549日

資金の 用途の 流れ、 費目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・補助対象者の確認は母子手帳により行われているので適正である。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算規模については、例年の平均的な妊婦数により積算しているため適正規模と考える。
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。	・受益者負担なし
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	・費目・用途については、事業目的達成の観点から必要なのか額の確定時において支出に関する書類において確認。適正であった。

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-③	健康診査用機材搬送事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部課名	健康づくり課	事業実施 (予定)年度	平成26～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	離島における定住条件の整備	
事業内容	集団検診(住民健診・胃がん検診・婦人がん検診)時における検診車の海上輸送運賃の負担軽減を行い、健康診査受診の促進を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の 状況	(a) 当初予算額	3,620	3,840			
		(b) 予算現額	3,763	3,569			
		(c) 増減額 (b-a)	143	▲ 271			
		(d) 前年度繰越額	-	0			
		A. 計 (b+d)	3,763	3,569			
	B. 執行済額		3,759	3,568			
	うち交付金充当額		3,007	2,854			
	次年度繰越額		-	0			
	執行率 (%) (B/A)		99.9%	100.0%			
予算の状況の説明		入札残に伴い不用額を減額し、適切な予算措置で事業執行できた。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	検診機材搬送 年3回実施 (検診3回×6島=18件)	目 標	(18件)	(18件)	()	()	
		実 績	18件	18件			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成 状況 説明	住民健診、婦人がん検診、胃がん検診実施時に、石垣島より町内各島を經由し検診機材を貨物船にて運搬した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	3検診の受診者数 1,600名	目 標	()	(1,700名)	(1,600名)	()	()
		実 績		1,187名	2,070名		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進 捗 状 況 説 明	事業実施により、多数の各島住民が住民健診等を受けることができ、健康増進及び経済的負担を減らすことができた。今後も受診者の更なる増加を目指す。受診者(住民健診1,511名・婦人がん検診248名・胃がん検診311名)					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	住民の健康増進の為に住民健診、婦人がん検診、胃がん検診に活用でき ており、大きな問題点はないが、各検診において受診率が低い状況である。	各検診の受診率を上げる為に、更なる周知徹底及び地域公民館との連 携が必要である。
今後の取り組み方針		
町民の健康増進に寄与する事業であることから、地域公民館等と更に連携を図り、今後も事業を継続実施する。		

資金の流れ
 (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
3,568	3,568	2,854	714	0

```

      graph LR
      A[竹富町  
3,568千円] --> B[使用料及び賃借料  
3,568千円]
      B --> C[沖縄県農業協同組合  
3,499千円]
      B --> D[八重山観光フェリー(株)  
69千円]
      C --- E["( 検診車等の機材運搬  
婦人がん検診、住民検診(5島6地区)  
胃がん検診(5島5地区) )"]
      D --- F["( 検診車等の機材運搬  
胃がん検診(1島1地区) )"]
    
```

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業者とは随意契約を行っているが、他社においては定期運行等があり検診日程に合わせての運行は出来ない状況であり、大型貨物でしか対応できない。契約は妥当であると考え。 ・不用額は無く適正な規模である。費目及び使途は検査により確認されている。 ・費目・使途については適正であると考え。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分) 検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	1-④	竹富町お出かけサポートモデル事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(7)-ウ	
担当部課名	介護福祉課	事業実施 (予定)年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	人間優先のまちづくり	
事業内容	高齢者や障害者等の外出機会の増加による自立生活の助長を図るためのお出かけサポート事業を西表西部地区を対象に実施する。また利用実績等を基に、他地区への展開について検証する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)		26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	5,000	3,000			
		(b) 予算現額	5,000	3,000			
		(c) 増減額 (b-a)	0	0			
		(d) 繰越額	—	0			
	A. 計 (b+d)		5,000	3,000			
	B. 執行済額		3,955	3,000			
	うち交付金充当額		3,164	2,400			
	次年度繰越額		—	—			
	執行率 (%) (B/A)		79.1%	100.0%			
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。適正な予算措置であったと思われる。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	送迎サービスの実施 4月～3月	目 標	(送迎実施)	(送迎実施)	()	()	
		実 績	実施完了	実施完了			
	アンケートの実施	目 標	()	(実施)	()	()	
		実 績		10件			
達成 状 況 説 明	事業実施した結果、サービス対象者への周知広報がまだまだ徹底されていないのが現状の課題とされる。 現在の登録者数は45名となっており、登録者の利用も増えつつある。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	26年度	27年度	28年度	目標値 (年度)
	年間利用者数見込み:延べ人数500人	目 標	()	(120名)	(500人)	()	()
		実 績		3名	372名		
	本格運行に向けた利用料金及び利用状況の把握	目 標	()	()	(利用料金及び 利用状況把握)	()	()
		実 績			1人当たり 利用料1回100円 年間平均8回利用		
	進 捗 状 況 説 明	サービス対象者への周知広報がまだまだ徹底されていないのが現状であり、現在の登録者数は45名となっている。 一人当たり年間で平均8回の利用をしており、当初目標として掲げていた年間利用者には達しなかったが、昨年度と比較して登録者も増えつつある。今後も周知広報により利用者の拡大を図りたい。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・利用にあたり、3日前の電話予約制をとっているが、利用者から電話予約後即利用できる実施体制を検討してもらうよう利用者から要望がある。 ・一回当たり100円の利用料を徴収しているが、支払いに際し抵抗感がある利用者があるため検討事項となっている。 ・サービス対象者への周知広報がまだまだ徹底されていない。	・利用にあたり、3日前の電話予約制をとっているが、委託運営側の理解もあり即日対応可能な状況であれば対応している。ただし、突発的な対応には予定が組めない点もあり厳しい面がある。 ・利用者のニーズに応えるため、アンケートを実施し、課題点を確認し、より利活用しやすく改善を図る。 ・一部利用者に対し、利用料徴収について理解いただけるよう周知活動等を実施する。 ・各地区の区長及び民生員の方々に対しての説明のみだったので、更なる周知活動の強化を図る。
今後の取組方針		
・引き続き周知広報を図り登録者数並びに利用回数の増加に向け取組みを図る。 ・利用者の声を拾うためアンケートを実施し、利用しやすいよう環境整備を図る。 ・その他地区への送迎エリア拡大等を検討するため、各公民館等地域住民と連携しながら協議していき、事業拡大を図っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>3,000</td><td>3,000</td><td>2,400</td><td>600</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 竹富町 3,000千円 委託料 3,000千円 特別養護老人ホーム 南風見苑 管理運営委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,000	3,000	2,400	600	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,000	3,000	2,400	600	0										
資金使途の流点検評価・	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は、実績、知識等を勘案し、規則に沿って選定している。選定については妥当であったと考える。 ・見積書により予算積算。適正規模であった。 ・費目、使途については事業目的達成の観点から必要経費であるのか額の確定時において支出等に関する書類により検査、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑤	黒島・大原間定期航路運行モデル事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア			
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減			
事業内容	定期航路のない島間を就航し、これをモデル事業として島間を往来する利用者の利便性向上・島間航路の確保を行い、交流人口の増加による地域振興を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,084					
		(b) 予算現額	21,084					
		(c) 増減額 (b-a)	0					
		(d) 繰越額	-					
		A. 計 (b+d)	21,084					
	B. 執行済額		19,533					
	うち交付金充当額		15,626					
	次年度繰越額		-					
	執行率 (%) (B/A)		92.6%					
予算の状況の説明		執行率については、利用料発生による対象額からの減額分によるものであり、当初計画の事業内容及び活動目標は達成できたため、適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	島間航路の確保(1日2往復)	目 標	(1,460航回)	()	()	()		
		実 績	1,407航回					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	実施期間中の台風襲来及び天候不良による欠航以外、1日2往復(4航回)を達成している。達成率96.6%							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	本航路の島間移動の利用者の把握及び、島間航路の確保による利便性の向上	目 標	()	(本航路の島間移動利用者の把握)	()	()	()	
		実 績		78.1%				
	利用者見込み数:年間1,600人	目 標	()	(1,600人)	()	()	()	
		実 績		1,148人				
	進捗状況説明	実施期間中の実績(利用者総数)は1,148人で、1,407回の運行回数に対する1運航あたりの人数は0.82人、見込み数に対する目標の達成率は71.8%であった。その上で、全体の78.1%(897人)が複数の島々を巡る形態(片道券・旅行者取扱券・周遊券)による利用だったため、本航路の新設・定期化による島間移動の把握と利便性の向上については、一定の成果を得ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光客の割合が多いと思われる竹富町の船舶利用者の属性を踏まえ、その把握に努めることを前提とし、半期毎となっている航路に関する設定(見直しは申請の関係から半期に1度)は、定性的な成果を得るために変更しないことを前提とする。	本事業の結果を踏まえ、改善を行う余地の検証を行うとすれば、①より利便性が高くなるような運航形態(時間・本数)の検討、②島間航路を利用する旅行商品の開発推進、③島で差異のある島内2次交通の充実など島間で異なる受け入れ体制の整備、④航路を紹介する媒体の多様化等が挙げられる。
今後の取り組み方針		
本事業で得られた成果を竹富町内の各島間で新たに設定する島間航路へ適応させるため、圏域で営業を行う複数の船会社間に対し、より実態に即した航路新設や運営を行えるよう、協議を行う。その上で経由便等の可能性を含めた、更なる利便性の向上を目標とする運航形態を検討する。合わせて旅行代理店等の参画も促し、島間航路を利用する旅行商品の開発を推進する。その上で島で差異のある島内2次交通の充実など島間で異なる受け入れ体制の整備を平行して行い、利便性の向上を図る。		

資金の流れ
（資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する）（単位：千円）

総事業費	交付対象 事業費			交付対象 外経費
		交付金 充当額	市町村 負担金	
19,533	19,533	15,626	3,907	0

```

graph LR
    A[竹富町  
19,533千円] --> B[委託料  
19,533千円]
    B --> C["八重山観光フェリー  
(株)  
19,533千円"]
    C --- D["（ 航路新設・定期運航に  
かかる委託業務 ）"]
  
```

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業は随意契約であったが、本町の船舶運航・交通施策に深く関わっており、企業組織、実績等を勘案した上で選定し、条例規則等に沿った妥当な契約であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・利用料発生による多少の減額があったものの、予算規模は適正であったと考える。
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	・費目・使途については、各活動への参加とそれに伴う経費であり、事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑥	竹富町民等船賃負担軽減事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-ア		
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	交通・生活コストの低減		
事業内容	島々を結ぶ高速船の船賃をJR料金並みにすることで、竹富町民等の交通費に要していた負担を軽減すると共に、生活の利便性を高める。							
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☐ 補助 ☒ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	57,400					
		(b)予算現額	69,600					
		(c)増減額(b-a)	12,200					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	69,600					
	B. 執行済額		58,668					
	うち交付金充当額		46,934					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		84.3%					
予算の状況の説明		経費処理の制度上、2月末日までを交付金対象(B.執行済額)とし、3月分に関しては町負担で対応している。3月を含む総事業費は66,569千円であり、予算執行率は96%のため適切な予算執行であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	町民等の船賃の支援	目 標	(町民等の船賃の支援)	()	()	()		
		実 績	町民等の船賃の支援					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	延べ95,762人へ船賃の支援を行い、船舶交通に要していた負担軽減および生活の利便性は高められている。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(25年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	対象航路の利用客数の増加 74,700人(基準年度H25)⇒93,400人(25%増)	目 標	(74,700人)	(93,400人)	()	()	()	
		実 績		95,762人				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成25年度の基準年度より、28%の増加となり、対象航路において目標どおりの利用客の増加となった。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	沖縄県事業による、沖縄離島住民等交通コスト負担軽減事業と連携を行っているため、検査等の事務についても連携することが出来ている。	現在、本事業を活用する場合は、紙面にて申請を行っているが、機械化の導入で住民の更なる利便性の向上に繋がることが考えられる。 今後、消費税の増税や燃油等の価格の変化に伴い、船賃が変化することが考えられるため、社会的な変化に対応する必要がある。 本町における島間航路への適用について、沖縄県及び船舶業者と調整必要がある。
今後の取り組み方針		
利用する町民等の利便性の向上のために、システム導入を検討する。 本町における島間航路への適用に向け沖縄県及び船舶業者と調整を行い検討する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>58,668</td><td>58,668</td><td>46,934</td><td>11,734</td><td>0</td></tr> </tbody> </table> 竹富町 58,668千円 負担金 58,668千円 八重山観光フェリー株式会社 28,085千円 有限会社安栄観光 27,341千円 石垣島ドリーム観光株式会社 3,133千円 有限会社船浮海運 109千円 各航路料金とJR並料金との差額のうち町負担額					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	58,668	58,668	46,934	11,734	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
58,668	58,668	46,934	11,734	0										
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・町内を結ぶ航路会社が支出先であるため妥当であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	・予算については事務処理の関係上3月分が町負担となってしまったが、予算執行率は96%のため事業内容に見合った規模であった。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	・八重山圏域における経済活動の中心地である石垣市との往来なくして竹富町内での生活は成り立たないことから、本事業は全町民に平等に恩恵をもたらす事業であった。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	1-⑦	複合型福祉施設整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(2)-イ		
担当部課名	介護福祉課	事業実施(予定)年度	平成27～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	子育てセーフティネットの充実		
事業内容	本町での、質の高い幼児期の学校教育・保育及び地域の子ども・子育て支援事業と、各地区の高齢者等を対象とした介護予防等の活動拠点となる福祉施設を、地域に即した「複合型福祉施設」として整備するための基本計画を策定し、それに基づいた各地区の拠点整備を実施する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	9,500					
		(b)予算現額	8,964					
		(c)増減額(b-a)	▲ 536					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	8,964					
	B. 執行済額		8,964					
	うち交付金充当額		7,171					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		減額については競争入札による不用額の補正処理であり、予算規模は適正であったと言える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	基本計画策定 (波照間島・小浜島・西表島上原)	目 標	(計画策定)	()	()	()		
		実 績	計画策定完了					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	複合型福祉施設整備を目指す本町7地区のうち、3地区(波照間島・小浜島・西表島上原)での基本計画の策定を完了した。複合型福祉施設は、地域における保育・教育環境の充実を図るばかりではなく、地域を単位とした福祉活動の拠点形成を図るうえで重要な役割を担う施設であることから、複合型福祉施設が担うべき役割については計画策定前、案計画中、並びに最終案作成の各段階において、住民懇談会を開催し住民意向を反映したものとして位置づけている。また、災害時における減災、防災の観点から施設整備の用地選定等においても一定程度の合意を得られたものと認識しているが、一部地域においては既存敷地や候補地を踏まえた検討を進めていくこととしている。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	複合型福祉施設整備を目指す本町7地区のうち、3地区(波照間島・小浜島・西表島上原)での基本計画の策定完了	目 標	()	(計画策定)	()	()	()	
		実 績		計画策定完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	複合型福祉施設が担うべき役割については、住民懇談会を通して方向性を定めた。今後は担うべき役割を補完する施設整備(必要な居室)の考え方等を踏まえた具体的な整備案の検討を推進する。(実施設計へ向けた取り組み) 一方、計画班で掲げた建設予定候補地については、敷地の買い増しによる用地の拡大、防災上の安全性の観点から代替え用地の検討が必要な敷地も存在しており、建設用地確保に向けた取り組みや地域の実情を踏まえた多様な運営主体の検討を進めることが急務である。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	○一町多島で構成される本町においては、地域に整備する複合型福祉施設を他市町村のように広域的に利用することが困難であることから、地域完結型の施設利用や運営が求められる。 ○こうした、地理的条件や地域資源(人的資源の不足)によるサービス提供基盤については、地域の実情を踏まえた個別サービスの創設と提供体制の検討や必要な人員(教育・保育及び福祉人材の適正配置)に向けた展望と計画的な配置に向けた全庁的な取り組みの検討が必要となっている。 ○また、施設整備においては、持続可能性のある事業の推進と施設の安定的な運営が必須の要件となることから、多様な主体を視野に入れた施設運営方針を具体的に定めた施設運営・採算面に対する具体策の検討が課題となっている。	○各地域における複合型福祉施設の整備は、各地域における利用規模の想定等踏まえた規模の施設を整備するものとして、地域を主体とした多様な運営形態の検討を進め、基本計画に基づく事業展開が可能となるように実施設計につなげる取り組みをすすめる。 ○建設用地については、災害時における対応、周辺環境等に配慮した適地選定を行う。また、用地確保については進捗状況で記述したように土地の権利関係等に十分確認しつつ確保に向けた取り組みを進める
今後の取り組み方針		
策定された基本計画を基礎とし、3地区(波照間島・小浜島・西表島上原)への複合型福祉施設の整備を順次進めていくため、各地域における持続可能性のある事業展開に向けた具体的な施設機能の在り方を検討する。さらに、施設の安定的な運営を図るため、教育委員会等との連携や多様な事業運営手法を検討する。また、介護保険制度等に基づき地域を主体とした地域包括ケアの構築等を念頭に、多様な運営主体を視野に入れ指定管理者制度などを活用した施設管理運営方針の取りまとめるための取り組みを継続的に実施し、地域に暮らす人々が、必要とする行政サービスを受け、安心して暮らしていくために多様な主体が連携した地域づくりをめざし施設整備を推進する。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>8,964</td><td>8,964</td><td>7,171</td><td>1,793</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	8,964	8,964	7,171	1,793	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
8,964	8,964	7,171	1,793	0										
竹富町 8,964千円 委託料 8,964千円 株式会社沖縄計画機構 8,964千円 基本計画業務委託 波照間島・小浜島・西表島														
資金の流 使途の流 点検 点検 評価 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○		支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は一般競争入札で選定しており、妥当であったと考えている。 ○不用額は事業費の5%以内であり適正な規模であった。 ○費目、使途については精算段階で検査を実施しており、目的に即し、必要なものであったと判断した。											
○		予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
-		受益者との負担関係は妥当であるか。												
○		費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-①	うなり崎公園整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(6)-ア	
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成24年～27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の魅力や優位性を活かした新たな産業の創出		
事業内容	旧太陽の村(観光施設)跡地の公園整備を図り、優れた景観を活かし新たな観光スポットとして利活用を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)		24年度	25年度	26年度	27年度	28年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	50,883	120,000	106,678	131,999	
		(b)予算現額	42,324	106,932	106,631	136,157	
		(c)増減額(b-a)	▲8,559	▲13,068	▲47	4,158	
		(d)繰越額	0	0	0	0	
		A.計(b+d)	42,324	106,932	106,631	136,157	
	B.執行済額		42,324	104,184	106,550	133,637	
	うち交付金充当額		33,850	83,347	85,240	106,909	
	次年度繰越額		-	-	-	-	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	97.4%	99.9%	98.1%	
予算の状況の説明		公園等整備工事に係る工法変更により、増額補正を行なった。 当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	公園等整備工事の実施(3工区) 駐車場1,000㎡、芝公園9,000㎡、園路1,000㎡	目標	(危険建物等の撤去)	(公園等整備工事実施)	(公園等整備工事実施)	(公園等整備工事実施)	
		実績	危険建物等の撤去	公園等整備工事実施	公園等整備工事実施	公園等整備工事実施	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	公園整備計画で位置づけた駐車場、芝公園、園路の整備工事等を実施した。 当初計画していた目標どおりの整備ができたが、公園の管理上、管理倉庫の必要性が出てきたため、平成28年度において付帯施設として管理倉庫の整備を実施する。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	公園等整備工事完了(整備率100%)	目標	()	(公園等整備工事実施)	(公園等整備工事実施 69%)	(公園等整備工事実施 100%)	()
		実績		公園等整備工事実施	69%達成	100%達成	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	平成27年度までに「集いの広場ゾーン、子供広場ゾーン」等の整備が完了しており、当公園は平成28年7月から供用開始を予定している。 しかし、公園管理上、公園維持管理倉庫の整備が必要になったため、平成28年度において管理倉庫の整備を実施し、平成29年3月末の完了を予定している。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・平成28年度は4工区(管理庫整備)を予定しているが、メインゾーンは完了していることから、早期に条例等の整備を行い年内に供用開始する必要がある。	・年内の供用開始を図るため、公園内の維持管理等について地域住民との調整を行う。
今後の取り組み方針		
・「旧太陽の村」の廃墟の撤去工事、平成25年度からは公園整備工事が実施され平成27年度までにはメインゾーンが完了し、周辺景観にマッチし良好な整備状況である。平成28年度は、管理庫の整備を実施し、年内の供用開始に向け維持管理計画等を具体的に策定する。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		133,637	133,637	106,909
				市町村負担金
				26,728
				交付対象外経費
				0
竹富町 133,637千円 委託費 1,701千円 ㈱三矢エンジニアリング 1,701千円 設計技術管理 工事請負費 131,936千円 ㈱明新建設 34,020千円 公園整備工事 ㈱屋建設 20,352千円 公園整備工事 栄進建設 42,064千円 公園整備工事 ㈱池村建設 35,500千円 公園整備工事				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・工事業業者は、指名競争入札により企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ・費用については、事業目的の観点から額の確定時において検査、確認しており、適正であったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-②	観光誘客・受入対策事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～29年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	本町の滞在型観光を促進することを目的とした誘客宣伝活動及び受け入れ体制強化・整備する。						
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算 の 状 況	(a) 当初予算額	35,321	44,248			
		(b) 予算現額	43,243	33,865			
		(c) 増減額 (b-a)	7,922	▲ 10,383			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	43,243	33,865			
	B. 執行済額		41,739	26,902			
	うち交付金充当額		33,391	21,521			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		96.5%	79.4%			
予算の状況の説明		実施を予定していた3項目のうち、動画等撮影項目は悪天候により適正実施時期を逸したため、実施そのものを断念した結果、未達成となり、これが10,383千円の減額となった。誘客活動項目及び受入対策項目に関しては、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	宿泊支援システムの導入10箇所追加	目 標	(20事業者)	(10事業者)	()	()	
		実 績	7事業者	14事業者			
	滞在型観光関連3講義×4＝12回	目 標	()	(12回)	()	()	
		実 績		8回			
	誘客宣伝6会場(国内)	目 標	(誘客13箇所)	(誘客宣伝6箇所)	()	()	
		実 績	誘客15箇所	誘客宣伝9箇所			
	達成状況説明	宿泊システムの導入は10業者の目標に対し、14業者に新規導入を行った。 受入対策については人材育成・受入強化講座を計12回の予定に対し8回の実施(65人が受講)であった。悪天候のため渡航できず、開催のできない島があり、目標回数を達成できなかった。 観光誘客については国内外で計6会場の計画に対し、9箇所で開催(来場者数は計43万人)。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度
宿泊システムを導入した民宿等の宿泊者(各宿の平成26年度実績を基準)5%増		目 標	()	()	(5%増)	()	()
		実 績			7%増		
観光誘客活動(イベント等)での来場者数:8万人		目 標	()	(10万人)	(8万人)	()	()
		実 績		105万人	43万人		
竹富町入域観光客数:115万人		目 標	()	(110万人)	(115万人)	()	()
		実 績		116万人	115万人		
進捗状況説明		宿泊システムは平成26年度に導入した7業者に対し聞き取りの結果、目標5%に対し7%の増であった。観光誘客については国内計9箇所で開催した結果、総来場者数は43万人(うち催事会場内に設けたブースへの来場者数は延べ8,866人で全来場者数の2.1%に対し直接対応)となった。竹富町への観光入域客数は115万人の目標に対し、115万人であった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・竹富町を始めとする八重山圏域の基幹産業である観光は、外的要因による変動が激しいため、指標とする観光入域客数に誘客活動の成果が即座に反映されているかは、より慎重に見ていかなければならない。 ・新石垣空港開港以降、入域観光客数の増加がそのまま事業成果につながっていたが、踊り場を迎えている現状では、より詳細に個人旅行者の動態を把握し、その増減や季節・島ごとの動向、消費額や旅行形態など多くの要因を考慮し事業内容を精査、実施する必要がある。	・実施内容に関しては、実施体制の改善や強化、誘客活動場所や催事の厳選、効果の検証を進め、受入対策項目との連携強化を図り、より効果的な事業成果に繋がるよう随時見直しを図っていく。 ・成果目標に関しては、これまでの観光入域者数や来場者数を指標とするが、今後は再来訪率や受け地側の宿泊日数や現地消費額など経済効果の見える目標指数の導入を検討し、把握する必要がある。
今後の取り組み方針		
・八重山圏域が一丸となって観光施策に取り組む基本姿勢はそのままに、そのなかで竹富町の特色を活かした滞在型観光を推進する。 ・誘客活動はその成果を滞在型観光の推進に繋げるため、今後は認知度の向上と合わせて再来訪者率の向上を目標に組み込む。 ・小規模多数が特徴の本町の宿泊施設が中軸となるような滞在型観光を構築するため、旅行商品の再構築やICT活用拡大を継続して行う。 ・受け地としての質の向上を目的とした更なる受入体制の強化や整備、全体的な底上げを図るため、講習会の内容充実と回数増加を行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費
26,902	26,902	21,521	5,381	0

竹富町

26,902千円

委託料

25,846千円

竹富町観光協会

25,846千円

観光客誘致にかかる委託業務

旅費

1,056千円

旅費

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は随意契約であったが、本町の観光施策に深く関わっており、その企業組織、これまでの実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。
	△	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○未実施項目が発生したため、予算規模は改善を要する。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については、各活動への参加とそれに伴う経費であり、事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-③	小浜島観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興			
事業内容	小浜島へ訪れる数多くの観光客に安心、安全で快適な観光誘客を図っていくために、西大岳展望所への遊歩道の整備と大型バス対応の駐車場の整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,000					
		(b)予算現額	3,000					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	—					
		A.計(b+d)	3,000					
	B.執行済額		2,908					
	うち交付金充当額		2,326					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		96.9%					
予算の状況の説明		執行率が100%に満たないのは入札残によるものである。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	遊歩道100m、駐車場300㎡の設計の実施	目標	(設計実施)	()	()	()		
		実績	設計実施					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	H27年度において、小浜島西大岳の遊歩道及び駐車場の設計委託を実施・完了したため、活動目標は達成できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	H28整備に向けた遊歩道・駐車場の設計の完了	目標	()	(設計完了)	()	()	()	
		実績		設計完了				
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()	
		実績						
	進捗状況説明	平成27年度において、西大岳の遊歩道及び駐車場の設計委託を実施・完了したため、成果目標は達成できた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	小浜島の西大岳展望所の東屋は以前に整備されているが、歩道の状態が悪く勾配がきつい箇所があり、滑って転倒する恐れもあることから高齢者には厳しい歩道状況である。また、数多く訪れる観光客にとって安心・安全で快適な観光ができ、これまで以上の誘客を図る上でも歩道の整備及び往來する観光バスやレンタカー対応のための駐車場の整備の必要性があった。	H28年度の整備工事において、西大岳は保安林の指定があり、作業許可申請の調整において、作業面積に上限があることから、遊歩道付帯のウッドデッキ及び休憩所整備の有無の検証が必要であると考える。また、観光業への影響も鑑み地元および観光業者との調整も必要不可欠である。
今後の取り組み方針		
H28年度においては、H27年度の遊歩道及び駐車場の設計に基づき整備を実施予定だが、保安林指定の箇所に関して県との詳細な協議及び整備が必要となるため、年度の早い段階から調整を要する。また、西大岳は1年を通して観光客が多く訪れるため、整備工事時期・工法に関して地元及び観光業者への説明・調整を実施して観光客へ影響が少ないよう執り行う。		

資金の流れ

(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金	市町村	交付対象 外経費
		充当額	負担金	
2,908	2,908	2,326	582	0

竹富町
(2,908千円)

委託料
(2,908千円)

側環境プラン
(2,908千円)

西大岳遊歩道測量設計
委託業務

資金の 使途の 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、本町の指名選定委員会において選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用については、事業目的の観点から額の確定時において検査、確認しており、適正であったと考える。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-④		波照間観光関連事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(12)-ア		
担当部署名	建設課		事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光リゾート産業の振興		
事業内容	波照間島へ訪れる観光客の増加に伴い、観光スポットへの通行の利便性、新たな観光地の整備、観光客への印象向上を図るため、進入道路等の整備を行う。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	7,000					
		(b)予算現額	7,441					
		(c)増減額(b-a)	441					
		(d)繰越額	-					
		A.計(b+d)	7,441					
	B.執行済額		7,440					
	うち交付金充当額		5,952					
	次年度繰越額		-					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。 ・大型バスや歩行者、自転車のより安全性の向上を考慮した園路設計及び駐輪場の追加設計に伴い当初予算から441千円増額補正した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	設計の実施 ・高那崎:進入道路450m、駐車場600㎡ ・星空観測タワー:進入道路40m、駐車場600㎡ ・ニシ浜ビーチ:進入道路110m、駐車場600㎡	目 標	(設計の実施)	()	()	()		
		実 績	設計の実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	波照間島観光関連事業に必要な調査・測量・設計業務を完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	H28整備に向けた進入道路、駐車場の設計の完了	目 標	()	(設計完了)	()	()	()	
		実 績		設計完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	波照間島観光関連事業に必要な調査・測量・設計業務を完了した。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	観光客の利便性の向上、安心・安全上からも現状にあった整備が必要である。 自然公園法にかかる第二種特別地域の箇所が判明したため、環境省と事前に調整し許可に向けて取り組んでいる。 ニシ浜ビーチの駐車場において、一部森林管理署から借地している箇所が判明したため、新規借受の申請手続き中である。	・地元住民及び観光客からの情報・意見等を基に検討する必要性がある。
今後の取り組み方針		
平成28年度において、波照間星空観測タワー駐車場の整備を行い整備後供用開始を行いながら平成29年度のニシ浜駐車場及び高那崎整備の実施に向けた、地域住民等との意見調整を実施し、さらなる利活用に向け工事内容等を検討していく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>7,440</td><td>7,440</td><td>5,952</td><td>1,488</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 7,440千円 委託料 7,440千円 株式会社 興洋エンジニアリング 竹富町支店 7,440千円 波照間島観光関連 事業調査測量設計 委託業務					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	7,440	7,440	5,952	1,488	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
7,440	7,440	5,952	1,488	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託業務は、本町の指名選定委員会において選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。											
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費用については、事業目的の観点から額の確定時において検査、確認しており、適正であったと考える。											
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑤	忘勿石進入道路等整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	西表東部の南風見田海岸にある忘勿石之碑へ続く歩道は未整備であり、観光客が立ち寄りにくい現状にあるのでこれを改善するため、駐車場と進入路、遊歩道の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	4,800	92,330			
		(b) 予算現額	3,200	91,980			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 1,600	▲ 350			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	3,200	91,980			
	B. 執行済額		3,191	91,979			
	うち交付金充当額		2,553	73,583			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		99.7%	100.0%			
予算の状況の説明		入札残280千円、用地購入費70千円の減額以外、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	用地の選定と取得	目 標	(用地の確保)	(用地の取得)	()	()	
		実 績	取得できず	取得			
	忘勿石之碑への遊歩道89mの整備着手	目 標	(測量実施)	(整備着手)	()	()	
		実 績	測量実施	整備完了			
	達成状況説明	本年度予定していた遊歩道の整備を計画通り行うことができた。合わせて次年度行う用地取得を行うことができた。					
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	用地取得及び遊歩道89mの整備完了	目 標	()	(用地取得測量実施)	(用地取得遊歩道完了)	()	()
		実 績		測量実施	用地取得遊歩道完了		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本年度予定していた遊歩道の整備を計画通り行うことができた。合わせて次年度行う用地取得を行うことができた。					

市町村名	竹富町						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑥	竹富町フリーWi-Fi環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-2-(6)-イ	
担当部課名	企画財政課	事業実施(予定)年度	平成24～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	高度情報通信ネットワーク社会に対応した行政サービスの提供 Ⅲ-1-(2)	
事業内容	本町に訪れる観光客等の利便性向上と地域住民への新たな行政サービスの展開を図るため、平成25年度で整備した町内の公共施設、主要観光スポット等のフリーWi-Fiエリア拡充に向けた基盤整備を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a)当初予算額	64,288	56,767		25,724	
		(b)予算現額	57,931	53,667		25,702	
		(c)増減額(b-a)	▲6,357	▲3,100		▲22	
		(d)繰越額	—	0		0	
		A.計(b+d)	57,931	53,667		25,702	
	B.執行済額		57,783	51,717		25,699	
	うち交付金充当額		46,200	41,373		20,559	
	次年度繰越額		0	0		0	
	執行率(%) (B/A)		99.7%	96.4%		100.0%	
予算の状況の説明		現地調整に要する旅費等について予定していたが、来庁等により対応できたため減額することができたほか、適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	新規フリーWi-Fi整備:7箇所	目標	()	(30箇所)	()	(7箇所)	
		実績		33箇所		7箇所	
		目標	()	()	()	()	
		実績					
達成状況説明	新規アクセスポイント7箇所、アンテナ合計11台(屋内7台、屋外4台)の整備を計画通り整備した。 竹富島:いんのた会館(集落内)(外2)、高齢者ゆくい処/旧ビクターセンター(内2)、コンドイ浜入口(外1) 小浜島:くばさきの港家(内1) 新城島:新城島防災施設(内1・外1) 西表島:離島振興総合センター(東部出張所)(内2)、中野わいわいホール(内1)						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	新規フリーWi-Fi整備完了	目標	()	(整備完了)	()	(整備完了)	()
		実績		整備完了		整備完了	
	【参考指標】	目標	()	()	()	()	()
		実績					
	進捗状況説明	過年度と合計で39台のWi-Fiアンテナを整備したことで、観光客とくに外国人観光客の利便性向上が図られ、観光情報の拡散が期待される。 今後は安定的なサービス提供と設備等保守およびアクセス数等の管理や増設等のニーズ調査を行い拡充を図る。 また予定されている超高速回線整備とのスムーズな接続に努める。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	Wi-Fi設置個所に関して、今回は下記の手続きが必要であった。 ・本町関係課(所管行政財産使用許可) ・竹富島集落景観保存調整委員会(現状変更行為協議書) ・環境省九州地方環境事務所(特別地域内工作物増築許可) ・沖縄総合通信事務所(電気通信事業変更届) ・沖縄電力(電気使用申込) 関係者と事前に設置個所等の調整を行っておりスムーズな手続きがなされたが、コンドイ浜の設置個所だけは電波測定結果と景観保存会の意見との合意点を模索するのに時間を要した。	Wi-Fiの新たな整備箇所についてニーズや動向調査を行い、事前協議を早めに行うことで工事着手前の申請等をスムーズにする。
今後の取り組み方針		
安定的なサービス提供と設備等保守およびアクセス数等の管理や増設等のニーズ調査を行い拡充を図る。 また予定されている超高速回線整備とのスムーズな接続に努める。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付対象外経費
		25,699	25,699	0
		交付金充当額	市町村負担金	
		20,559	5,140	
竹富町 25,699千円 → 工事請負費 25,699千円 → ㈱リウデン 25,699千円 〔 Wi-Fi 整備工事 〕				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託及び工事請負業者は、企業組織、実績、知識等を勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・予算規模については不用額も少なかったため、適正であった。 ・費目・使途は事業目的達成の観点から、必要性、額の確定、支出等に関する書類により確認を行い、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑦	竹富島観光関連事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部署名	商工観光課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	竹富島には年間40万人余りの観光客が訪れ、その多くの方々が、星砂で有名なカイジ浜にて観光を楽しんでいる。しかし、周辺には休憩施設等が無く、多くの方が不便をきたしている現状がある。ついては、安心、安全で快適な観光が出来、これまで以上に観光満足度を向上させ、さらなる誘客を図っていくためにもこのカイジ浜周辺に休憩施設等整備を行う。							
実施方法	■直接実施 ■委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	1,811					
		(b)予算現額	2,310					
		(c)増減額(b-a)	499					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	2,310					
	B. 執行済額		2,309					
	うち交付金充当額		1,847					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		用地取得の算定額が過小であったため499千円の増額となったが、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えられる。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	休憩施設等の設計実施	目 標	(設計実施)	()	()	()		
		実 績	設計実施					
	用地取得	目 標	(用地取得)	()	()	()		
		実 績	用地取得					
	達成状況説明	本年度予定していた設計を計画通り行うことができた。合わせて用地取得を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	休憩施設等の設計完了	目 標	()	(設計完了)	()	()	()	
		実 績		設計完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	本年度予定していた設計を計画通り行うことができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	本事業設置地区は、国立公園内及び歴史的景観保存地区内でもあるため、整備を進めるに際しては、これらの諸条件に十分に配慮して行う必要がある。	本整備地を利活用する事業者や地域住民等の意見に配慮した調整を行い、今後行う整備・利活用についての更なる検討を行う。また、より高次なバリアフリー化を導入できないか検討を行う。
今後の取り組み方針		
本事業設置地区は国立公園内であり、浄化槽放流水の処理条件に制限があるため、次年度から環境省や沖縄県、保健所との協議を密に行う。また同地は歴史的景観保存地区内でもあるため、これに十分に配慮して整備を行う。		

資金の流れ
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)

総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
2,309	2,309	1,847	462	0

```

graph LR
    A[竹富町  
2,309千円] --> B[委託料  
636千円]
    A --> C[土地購入費  
1,673千円]
    B --> D[有限会社基企画  
636千円]
    D --- E[カイズ浜休憩所用地測量業務]
    C --> F[個人1名  
273千円]
    C --> G[個人1名  
273千円]
    C --> H[個人1名  
273千円]
    F --- I[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
    G --- J[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
    H --- K[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
    C --> L[個人1名  
1,127千円]
    C --> M[個人1名  
1,127千円]
    C --> N[個人1名  
1,127千円]
    L --- O[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
    M --- P[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
    N --- Q[カイズ浜休憩所用地売買代金  
1筆分]
  
```

資金の流れ、費目・使途の点検評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託事業者は指名競争入札及び随意契約で決定しており、これまでの実績、知識等を勘案した上で選定しているため、妥当であったと考えている。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算規模については用地取得の算定額が過小であったことが事業費の増額につながったが、評価額に基づき適正であった。
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑧		ムシャーマ公園整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ		
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備		
事業内容	波照間島の中央に位置するムシャーマ公園は、島の伝統行事「ムシャーマ」の会場として多くの地域住民及び観光客等が利用する。また、祭日以外の日においても波照間島を訪れる多くの観光客の立ち寄る場所でもある。しかし、周辺には公衆用トイレ及び休憩所等がなく、訪れる多くの方が不便をきたしている現状がある。そのため、さらなる観光満足度及び利便性向上を目指すためにムシャーマ公園内に公衆トイレ等を整備する。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	2,000					
		(b)予算現額	810					
		(c)増減額(b-a)	▲ 1,190					
		(d)繰越額	—					
		A. 計(b+d)	810					
	B. 執行済額		810					
	うち交付金充当額		648					
	次年度繰越額		—					
	執行率(%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		当初予定していた委託業務内容の変更に伴い、入札残の不用額を減額し、予算執行を実施した。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	ムシャーマ公園のトイレ休憩所等の設計実施	目 標	(設計実施)	()	()	()		
		実 績	設計実施					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	平成27年度において、ムシャーマ公園の休憩所等施設の設計委託を実施・完了したため、活動目標は達成できた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	トイレ休憩所等の設計完了	目 標	()	(設計完了)	()	()	()	
		実 績		設計完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	平成27年度において、ムシャーマ公園の休憩所等施設の設計委託を実施・完了したため、成果目標は達成できた。						

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	2-⑨		小浜島結願祭会場整備事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ	
担当部課名	教育委員会総務課		事業実施(予定)年度	平成27～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備	
事業内容	小浜島の結願祭は、国の重要無形民俗文化財の指定を受けている「小浜島の盆、結願祭、種子取祭の芸能」の一つで、その現地公開は嘉保根御嶽にて行われており、毎年多くの人々が参加している。しかし、会場にあるトイレの老朽化により、地域住民及び観光客等に不便をきたしている。祭事へ参加する地域住民及び見学に訪れる観光客の利便性等を向上を目指すためにも、会場内にトイレの整備を行う。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	736				
		(b)予算現額	736				
		(c)増減額(b-a)	0				
		(d)繰越額	—				
		A. 計(b+d)	736				
	B. 執行済額		723				
	うち交付金充当額		578				
	次年度繰越額		—				
	執行率(%) (B/A)		98.2%				
予算の状況の説明		執行率が100%に満たないのは入札残によるものである。適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			27年度	28年度	29年度	30年度	
	結願祭会場のトイレ設計実施	目 標	(設計実施)	()	()	()	
		実 績	設計実施				
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	小浜島結願祭の会場である嘉保根御嶽に、伝統行事の執行時における伝承者の利用と、平時には観光客への利用を目的とした公衆トイレの設計を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)
	トイレの設計完了	目 標	()	(設計完了)	()	()	()
		実 績		設計完了			
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	平成28年度事業として建築及び設備工事を実施するために必要な設計図及び設計書を完成する事ができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	一般に供される公衆トイレの設計であったが、伝統行事の継承に資する事が優先すべき目的であることから、祭事を執り行う際に影響がなく、御嶽林の伐採が最小になる位置を選ぶ必要があった。 伝統的な祭事空間の雰囲気壊さないよう留意し、景観へ配慮した外観となるよう検討した。 集落から外れた場所に位置するため、電気及び水道の供給、適切な排水の方法を検討する必要があった。	設計実施にあたっては、地元公民館にも内容を検討してもらい、その意見を参考に取り入れてきたが、引き続き施設完成後の有効な管理・活用について協議を進めていきたい。
今後の取り組み方針		
平成27年度に完成した設計に基づいて建築工事を施工し、目的とする施設を完成させたい。 整備事業の完了後には、この施設が伝統文化の継承や観光振興に有効に活用できるよう、地域公民館と協議しながら管理していきたい。		

資金の流れ														
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <thead> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> </thead> <tbody> <tr> <td>723</td><td>723</td><td>578</td><td>145</td><td>0</td></tr> </tbody> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	723	723	578	145	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
723	723	578	145	0										
竹富町 723千円 → 委託料 723千円 → 有限会社 大島設計事務所 723千円 → 〔小浜島結願祭会場トイレ建築設計〕														
資金の流 点検・費 目・使 途	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○対象業者とは随意契約を結んでいるが、実績と地域の伝統文化に精通する業者を選定しており妥当だと考えている。 ○予算規模は積算資料に基づくもので、適正であったと考えている。 ○委託事業について、契約書及び仕様書のとおり実施されており、事業目的に必要な費目・使途であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	2-⑩	竹富町観光受入施設安全対策推進事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(2)-ウ			
担当部課名	建設課	事業実施(予定)年度	平成27年度	沖縄振興基本方針該当箇所	観光客の受入体制の整備			
事業内容	広範囲に点在する16の有人・無人の島々からなる島嶼型自治体の竹富町では、島々の玄関口である港湾等を利用し多くの観光客及び地域住民が行き来しており、入域客数は年間115万人を突破している。こうした多くの人々が往来する本町において、安心・安全な観光地形成及び暮らしを維持するため、島々の玄関口である港湾等の主要な力所に防犯カメラを整備する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	25,500					
		(b) 予算現額	10,019					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 15,481					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	10,019					
	B. 執行済額		10,018					
	うち交付金充当額		8,014					
	次年度繰越額		—					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		・当初、Wi-Fiネットワークを介した防犯カメラ遠隔操作等集中管理システムの構築を検討していたが、それぞれの施設単独での防犯カメラを管理する構築となったため、当初予算から15,481千円減額した。 ・計画していた事業内容はすべて実施したほか、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	各港湾施設等への防犯カメラの設置工事	目 標	(設置工事)	()	()	()		
		実 績	設置工事					
		目 標	()	()	()	()		
		実 績						
達成状況説明	竹富町観光受入施設防犯カメラ設置工事完了 防犯カメラ設置数 (屋内計12台、屋外計9台、総計21台) 主要観光施設である竹富東港、黒島港、小浜港、仲間港、上原港、白浜港、鳩間港、波照間漁港、波照間空港の計9箇所において防犯カメラを設置したことにより、安心・安全な観光地形成及び暮らしを維持し、犯罪対策や犯罪抑止を図ることができた。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	防犯カメラ設置の完了	目 標	()	(設置完了)	()	()	()	
		実 績		設置完了				
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	進捗状況説明	竹富町観光受入施設防犯カメラ設置工事完了 防犯カメラ設置数 (屋内計12台、屋外計9台、総計21台) 安心・安全な観光受入施設の環境整備が図られ、観光客の満足度向上・誘客促進、観光収入の増加等、観光産業の質的充実による観光振興に寄与した。また、防犯カメラを設置することで、犯罪対策や犯罪抑止効果を図ることができた。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	竹富町の主要観光受入施設である各港湾旅客待合所や空港などは沖縄県の施設であり、占用許可の協議等手続きを行い実施した。	防犯カメラを活用した本町における防災・防犯の意識向上
今後の取り組み方針		
防犯カメラ運用における条例等の整備や防犯カメラの年次点検等実施するとともに、防犯カメラを活用した本町における防災・防犯の意識向上に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>10,018</td><td>10,018</td><td>8,014</td><td>2,004</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 10,018円 工事請負費 10,018千円 株式会社 オキジム 10,018千円 竹富町観光受入施設 防犯カメラ設置工事					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	10,018	10,018	8,014	2,004	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
10,018	10,018	8,014	2,004	0										
資金の流 点検・費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本工事は、本町の指名選定委員会において選定した業者を指名競争入札により実施しており、妥当であったと考える。 ○事業年度に見合った予算規模で適正であったと考える。 ○費用については、事業目的の観点から額の確定時において検査、確認しており、適正であったと考える。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分) 検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-①		読書支援事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(11)-イ	
担当部署名	教育委員会教育課		事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生活環境基盤の整備及び教育・医療・福祉における住民サービスの向上 Ⅲ-9	
事業内容	図書館設置が困難な地理的条件にある本町の幼児、児童生徒を含む地域住民への生涯学習支援として学校図書館を地域へ開放する取り組みとして、学校図書館へ人員を配置し活発な読書支援を図る。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	1,679	5,044	5,047	5,082	
		(b) 予算現額	1,574	5,044	5,050	5,072	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 105	0	3	▲ 10	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	1,574	5,044	5,050	5,072	
	B. 執行済額		1,574	4,851	4,603	4,760	
	うち交付金充当額		1,259	3,881	3,682	3,808	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	96.2%	91.1%	93.8%	
予算の状況の説明		執行率が100%に満たないのは入札残によるものである。適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	学校図書室の地域解放	目 標	(15回/月)	(15回/月)	(15回/月)	(15回/月)	
		実 績	15回/月	15回/月	15回/月	15回/月	
	保育所等への読み聞かせ実施(月1回)	目 標	()	()	()	(12回/年)	
		実 績				12回/年	
	地域への広報(図書館だより)配布掲示	目 標	()	()	()	(周知広報実施)	
		実 績				周知広報実施	
	達成状況説明	町内学校(黒島校、小浜校)二校にて事業実施し、両校共に月15回の巡回日数を達成でき、図書室を利用する地域住民も増えてきた。 自営業、農業従事者、畜産業を営んでいる方等への本の配達、保育園での読み聞かせも行い、本事業を進めて4年目となるが活発な活動が出来ている。					
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(24年度)	25年度	26年度	27年度
読み聞かせ児童 100名/年		目 標	()	()	()	(100名)	()
		実 績				177人	
黒島 学校図書館利用人数(地域住民) 75人/年		目 標	(31人)	(30冊/月)	(75人)	(75人)	()
		実 績		26冊/月	57人	195人	
小浜 学校図書館利用人数(地域住民) 100人/年		目 標	(80人)	(45冊/月)	(100人)	(100人)	()
		実 績		50冊/月	143人	177人	
進捗状況説明		①保育所、ディサービス、移動図書館等でリクエストを聞き、貸出を行った。 ②地域への広報(図書館だより)をホームページ掲載、掲示、配布を行った。 ③両地区、沖縄県立図書館の協力貸出サービス施行実施し、県立図書館の一括貸出を利用し目標達成できた。 ④前年度目標達成出来なかった黒島地区は「読みたいけど、来館する時間がない」などの島民の声を活かし、図書支援担当者が配達サービスを行い目標達成できた。 読書支援員の配置により、県立図書館の一括貸出、協力貸出サービス等を大いに活用したことや読み聞かせ、配達サービスを実施したことで図書館利用者の増加に繋がった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	読書習慣について馴染みのない等の理由で、なかなか新規利用者が伸びずにいた地域も、今年度は配達サービスを行うなどして、利用者が伸びた。しかし、今後は図書館が来るではなく、図書館に行くという意識改革を目指す事が今後の課題とされる。	沖縄県立図書館の一括貸出・協力貸出サービスを利用し、学校図書室には無い、成人向けの実用書、農業・畜産業の専門書の貸出を積極的に行うなど、様々な取り組みを実施検討したい。
今後の取り組み方針		
・保育所、ディサービス、移動図書館、乳幼児健診にあわせてブックスタート等での読み聞かせ会を月に1回程度実施 ・沖縄県立図書館の一括貸出事業(セット貸出)や協力貸出(リクエスト本)を利用し、成人向けの実用書、専門書も貸出が出来るようになった事の周知を行なう ・竹富町発行の広報誌、防災無線等での広報活動も行う		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)																
<table> <tr> <th rowspan="2">総事業費</th><th rowspan="2">交付対象事業費</th><th colspan="2">交付金</th><th rowspan="2">交付対象外経費</th></tr> <tr> <th>充当額</th><th>市町村負担金</th></tr> <tr> <td>4,760</td><td>4,760</td><td>3,808</td><td>952</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 4,760千円 共済費 491千円 賃金 3,189千円 旅費 1,080千円 社会保険料負担金、雇用保険料負担金 読書支援事業(図書支援員)に係る非常勤職員賃金 黒島、小浜島への旅費					総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費	充当額	市町村負担金	4,760	4,760	3,808	952	0
総事業費	交付対象事業費	交付金		交付対象外経費												
		充当額	市町村負担金													
4,760	4,760	3,808	952	0												
資金の流 れ、費 目・ 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明													
	○	支出先の選定方法は妥当か。	賃金・共済費等は竹富町規約に準じて支出された。旅費は学校訪問する際の渡航費である。事業規模に対し、適切な予算規模、支出先であるとする。													
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。														
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。														
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。														

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-②	児童生徒派遣費支援事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第5章-3-(3)-ウ	
担当部課名	教育委員会 教育課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度	沖縄振興基本方針該当箇所	時代に対応する魅力ある学校づくりの推進		
事業内容	児童生徒のスポーツ等の各種大会等への派遣費を支援し、負担軽減や各種大会等での貴重な体験経験を活かした人材育成等、沖縄本島との離島の格差是正を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☐ 委託 ☒ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	2,650	2,237	3,503	4,038	
		(b) 予算現額	1,803	4,109	5,504	4,038	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 847	1,872	2,001	0	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	1,803	4,109	5,504	4,038	
	B. 執行済額		1,719	3,780	5,122	2,917	
	うち交付金充当額		1,375	3,024	4,097	2,333	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		95.3%	92.0%	93.1%	72.2%	
予算の状況の説明		年度途中で船賃の低廉化があったことや補助金申請の遅延により本交付金の対象にできない支出が多く生じたため、当初予算額に対して交付金事業執行率は低くなった。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	児童生徒選手等派遣支援	目 標	(派遣費助成)	(派遣費助成)	(派遣費助成)	(派遣費助成)	
		実 績	派遣費助成	派遣費助成	派遣費助成	派遣費助成	
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	町内児童生徒たちがのんびりによりスポーツ大会や文化コンクール等の出場が増えており、それらに対する派遣費支援を行うことができた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	児童生徒選手等派遣人数:470人	目 標	()	(440人)	(470人)	(470人)	()
		実 績		704人	630人	498人	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	小学生80人、中学生418人 合計で498人分の旅費支援を行い、年間目標に達した。 スポーツ大会や文化コンクールの積極的な参加出場が増えている。本事業による旅費負担の軽減が図られたことで、事業の目的である保護者の負担軽減や大会を通じた人材育成に大きくつながっている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・補助申請及び実績報告の一連の提出書類に各学校によってばらつきが生じており、予算調整にも影響があった。 ・船賃の変動による対応が少しくまいかず、精算事務が数件生じた。	・各学校で書類取りまとめを依頼しているが、証票書類等が揃わずに提出が遅れるケースが多発した。 ・特に3月(春休み期間中)の派遣が多かったため、あらかじめ厳格な期限を設けて年度内精算が確実にできるよう、関係者に通達する必要があると感じた。 ・船賃料金改定等の交付に関わる情報についても関係機関との連携を強化し、各学校に対して事前周知を徹底する。
今後の取り組み方針		
・事業の適正な執行体制の構築が必要であり、校長会・教頭会等連絡会ごとに書類提出の協力依頼を行い、年度内精算の改善に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>2,917</td><td>2,917</td><td>2,333</td><td>584</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	2,917	2,917	2,333	584	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
2,917	2,917	2,333	584	0										
竹富町 児童生徒派遣費支援事業 2,917千円 → 補助金 2,917千円 → 小学校 80名 207千円 中学校 418名 2,710千円 大会等旅費に係る補助														
資金使途の流れ、費目・点検評価	評価	点検項目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の生徒(学校)等には、提出書類等を検査しているため、支出先の選定及び費目・使途について適正である。 ・予算については不測の事態によって不用額が生じたが、予算規模としては適正であったと考える。 ・生徒等助成対象者との関係は規則に沿って支出しており、受益負担関係は妥当である。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	○	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-③	学校ICT支援員派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会教育課	事業実施(予定)年度	平成26～30年度	沖縄振興基本方針該当箇所	国際性と多様な能力を涵養する教育システムの構築		
事業内容	児童・生徒の学習意欲等の向上を目指し、教育用PC・電子黒板・タブレットPC等のICT機器を効果的に活用した分かりやすい授業の実現を支援するため、各小中学校へICT支援員を派遣する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,739	5,448			
		(b) 予算現額	6,739	5,876			
		(c) 増減額 (b-a)	0	428			
		(d) 繰越額	—				
	A. 計 (b+d)		6,739	5,876			
	B. 執行済額		4,406	5,874			
	うち交付金充当額		3,525	4,699			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		65.4%	100.0%			
予算の状況の説明		当初の計画の通り事業が執行でき、適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	各学校、月に1回の派遣	目 標	(派遣実施)	(派遣実施)	()	()	
		実 績	派遣実施	派遣実施			
	ICT支援員による教職員向け研修 小中学校13校×2回	目 標	()	(研修26回)	()	()	
		実 績		13回			
達成状況説明	教職員向け研修については目標の50%の達成状況であるが、各学校とも1回は研修ができた。 達成できなかった要因として、学校の行事計画・教育計画との調整もあり、当初目標としていた各校年2回の実施は厳しいことが分かった。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	2日に1回以上授業でICT機器を使用する 教職員数:80%以上	目 標	()	(80%)	(80%)	()	()
		実 績		67%	73%		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	本事業実施により、学校から教育委員会に対するICT機器の使用法やトラブルなどの問い合わせが劇的に減った。 専門的な知識を保有している支援員の定期的な訪問と研修を行うことにより、教師一人一人の意識が向上してきた結果だと考えられる。 目標値に達成できなかった理由として、学校の年間教育計画の変更などがあり、機器を使用することができなかったことなどがあげられる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・校内研修でICT支援員を活用した研修が十分に行えていない状況。 ・学校から支援員に対する要望などが事前に明確に把握できない場合がある。	・モデル校を立ち上げ、支援員と機器の活用について研究を行い、その成果を全学校に対して実践発表を行う。 ・訪問前に教育委員会へ支援員に対する要望書を提出して頂き、対応策などを準備して訪問を行う。
今後の取り組み方針		
本町の各学校にはICT機器だけではなく、デジタル教科書も導入しているため、ソフトの活用方法などにも積極的に援助を行うことで、更なる教師の指導力を高め、児童生徒の興味関心を引き出す手立てを行っていく。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table border="1"> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>5,874</td><td>5,874</td><td>4,699</td><td>1,175</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	5,874	5,874	4,699	1,175	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
5,874	5,874	4,699	1,175	0										
竹富町 5,874千円 → 委託料 5,874千円 → 株式会社 オキジム 5,874千円 ICT支援員 派遣等 町内全小中校13校														
資金の流 れ、費 目・ 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の業者は、県内で実績がある業者であり、初年度に指名競争入札により選定してからの継続事業である。 ○積算内容及び単価等は事業目的に即した内容・規模となっている。 ○委託業務については、契約書及び仕様書のとおりに実施されており、検査により、事業目的に必要な費目・使途であったと確認できた。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-④	デジタル教科書整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア		
担当部課名	教育委員会教育課	事業実施(予定)年度	平成27～28年度		沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
						Ⅲ-3-(1)		
事業内容	ICT教育環境の向上を図り、児童の学習への興味関心を高めるため、デジタル教科書を各小学校へ整備する。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a) 当初予算額	21,503					
		(b) 予算現額	17,490					
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 4,013					
		(d) 繰越額	—					
		A. 計 (b+d)	17,490					
	B. 執行済額		17,489					
	うち交付金充当額		13,991					
	次年度繰越額		0					
	執行率 (%) (B/A)		100.0%					
予算の状況の説明		減額に関しては、セット購入による価格割引が発生したため安価での購入が可能となり、不用額が生じた。予算執行については適正であったと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	デジタル教科書の導入 小学校11校 7教科	目 標	(導入実施)	()	()	()	()	
		実 績	導入完了					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
達成状況説明	・計画当初の予定していた教科数を各小学校へ納品完了した。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	27年度	28年度	29年度	目標値 (年度)	
	デジタル教科書の導入完了 (授業でのデジタル教科書の充足率100%)	目 標	()	(導入完了)	()	()	()	
		実 績		導入完了				
	指導単元ごとの活用率100%	目 標	()	(100%)	()	()	()	
		実 績		80%				
	進捗状況説明	デジタル教科書は電子黒板との連携によって更なる効果を発揮できるが、現在は各小学校に1台しかない。そのため他教室ではディスプレイで対応している状況である。全学級に電子黒板を整備することによって、目標の活用率が実現できると考えられる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・無償給与の教科書にはない、デジタル教科書の良さを知らない教師がいる。 ・デジタル教科書をより効果的に活用するための電子黒板の不足。	・教育委員会主催で講師を招き、教師に対する効果的な活用についての説明会を行う。 ・全学級に電子黒板を整備し、デジタル教科書の機能をより効果的に使い、児童生徒の興味関心を引き出す。
今後の取り組み方針		
様々な教科の、どのような場面においてデジタル教科書が活用できるのか、教育現場及び事務局等で連携し研究を推進し、またICT支援員等の外部からの助力も得ながら、効果的な活用方法について推進していく。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
				市町村負担金
				交付対象外経費
		17,489	17,489	13,991
				3,498
				0
竹富町 17,489千円 備品購入費 17,489千円 有限山田書店 17,489千円 各小学校へ7教科 デジタル教科書の導				
資金の 使途の 流れ、 点検、 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先の業者は随意契約だが、八重山で唯一の取次供給所であるため、入札に付することができないためである。選定は妥当だったと考える。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○予算については、当初の計画後にセット割引が出現したため差額が生じたが、特に問題はないと考えている。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託業務については、契約書及び仕様書のとおり実施されており、事業目的に必要な費目・使途であった。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町							
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑤	外国語指導助手派遣事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(4)-ア		
担当部課名	教育委員会教育課	事業実施(予定)年度	平成27～31年度		沖縄振興基本方針該当箇所	国際社会、情報社会に対応した教育の推進 Ⅲ-3-(1)		
事業内容	生きた外国語や外国文化・生活に触れる機会を提供し、外国語によるコミュニケーション能力の向上と国際感覚の養成を図る。							
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	4,176					
		(b)予算現額	4,175					
		(c)増減額(b-a)	▲1					
		(d)繰越額	—					
		A.計(b+d)	4,175					
	B.執行済額		4,160					
	うち交付金充当額		3,328					
	次年度繰越額		0					
	執行率(%) (B/A)		99.6%					
予算の状況の説明		当初の予算・計画の通り事業が執行できたと考えている。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
			27年度	28年度	29年度	30年度		
	外国語指導助手の派遣 150回/年 小学校11校、幼稚園3園	目標	(150回)	()	()	()		
		実績	135回					
		目標	()	()	()	()		
		実績						
達成状況説明	船舶の欠航や外国語指導助手(ALT)の体調不良等による欠席によって、目標の派遣回数150回を達成できなかったが、達成率は90パーセントの為、ほぼ達成できたと考える。							
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	29年度	目標値(年度)	
	学級の在籍人数80%の児童が以下の目標を達成できる。(アンケートの実施により成果を把握する) 幼稚園: 初歩的な外国語を聞きまねることができる。 小低学年: 初歩的な外国語を聞き理解することができる。 小中学年: 初歩的な外国語を聞き理解し・答えることができる。 小高学年: 初歩的な外国語の運用(質問したり、答えたり)ができる。	目標	()	(80%)	()	()	()	
		実績		85%				
	進捗状況説明	しかし、八重山地区で行われた英語スピーチコンテストで、竹富町が1位～3位をすべて受賞することができた。これについては、教師と外国語指導助手(ALT)の相乗効果だと考えられる。 目標の80%を超えていることから、小学校にも外国語の教科化が予想されるため、もう少し踏み込んで、文法にも触れながら外国語活動を行っている。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・毎日船舶を利用し、各離島へ渡島するが、欠航があった場合の学校への支援の在り方。 ・成果目標を数値化することが厳しい。	・テレビ会議システムを活用し、船舶の欠航時でも遠隔でスムーズに授業を行えるよう支援システムを構築する。 ・スピーチコンテストや、その他のイベントなどに関わった結果を達成状況として分析することが必要。
今後の取り組み方針		
・船舶の欠航による欠回数を解消させ、外国語教育の格差をなくす。 ・外国語に係る各種学校行事、イベントなどに積極的に参加する姿勢の育成と、上位の入賞を獲得する。		

資金の流れ				
(資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
竹富町 4,160千円 共済費 560千円 賃金 3,600千円		総事業費	交付対象事業費	交付金充当額
		4,160	4,160	3,328
				市町村負担金
				832
				交付対象外経費
				0
		〔 社会保険料負担金、雇用保険料負担金 〕		
		〔 外国語指導助手(ALT)に係る非常勤職員賃金 〕		
資金の用途の流れ、費目・評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○外国語指導助手(ALT)の選定に当たっては、日本及び沖縄の文化、生活様式をしっかりと理解をしており、また教育についても高い能力を有している人物である。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	○積算内容及び単価等は事業目的に即した内容・規模となっている。	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○委託業務については、契約書のとおり実施されており、検査により、事業目的に必要な費目・使途であったと確認できた。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
平成27年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	3-⑥	教育環境整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-ア	
担当部課名	教育委員会総務課	事業実施(予定)年度	平成26～28年度	沖縄振興基本方針該当箇所	教育機会の拡充		
					Ⅲ-3-(1)		
事業内容	気温が高い期間が長期にわたる沖縄の亜熱帯気候に対応するため、教育施設の空調設備の整備を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,850	15,400			
		(b) 予算現額	3,850	16,813			
		(c) 増減額 (b-a)	0	1,413			
		(d) 繰越額	—	0			
		A. 計 (b+d)	3,850	16,813			
	B. 執行済額		3,834	16,740			
	うち交付金充当額		3,067	13,392			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		99.6%	99.6%			
予算の状況の説明		不用額については入札残であり、当初計画していた事業内容は全て実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	空調設備の設置 ・小学校5校:普通教室21教室 ・中学校3校:普通教室 7教室	目 標	(7教室整備)	(28教室整備)	()	()	
		実 績	7教室整備完了	27教室整備完了			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	目標の28教室中、27教室の整備完了した。 残りの1教室は、普通教室としての使用ではなかったため、対象から除いた。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	全体計画15校52教室のうち、H27末時点で整備目標:10校35教室 (全体計画の進捗率:約60%)	目 標	()	(10%)	(60%)	()	()
		実 績		10%	(65%)		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	当初計画されていた、3校(小浜中学校、波照間小学校、波照間中学校)は校舎改築工事により空調機の整備を実施することとなり、全体の学校数及び教室数が減ったため、平成27年度末の本事業進捗率は65%となった。 本事業で整備された空調機は平成28年度から供用開始するため、今後の学習効率の向上や、健康面・安全面の環境確保が図られる。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・電力需要が学校ごとに異なるため、細かな仕様書作成が必要である。	・仕様書の設定等を専門的な業務委託とする。
今後の取り組み方針		
平成28年度は、小学校2校(7教室)と中学校2校(5教室)の普通教室に空調機を設置する。 平成27年度は、入札不調等により工期が年度末になったため、当初から仕様書作成等を設計委託業務とし、早期の着工に取り組む。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>16,740</td><td>16,740</td><td>13,392</td><td>3,348</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 1,674千円 → 工事請負費 1,674千円 ⇒ 有限会社大三電設 1,674千円 各学校 空調整備					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	16,740	16,740	13,392	3,348	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
16,740	16,740	13,392	3,348	0										
資金の流 れ、費 目・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・支出先の選定については、規則に沿って選定しており妥当であったと考える。 ・予算の規模については、入札不調であったが結果、随意契約することができた。ぎりぎりの範囲内であったと考える。 ・事業目的達成の観点から、適正であった。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・用途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町							
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】								
事業番号・事業名	3-⑦		芸術文化体験事業		沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-5-(2)-イ		
担当部課名	教育委員会教育課		事業実施(予定)年度	平成27～31年度	沖縄振興基本方針該当箇所	生涯学習社会の実現		
事業内容	離島・へき地である竹富町においては、普段の生活圏ではクラシック音楽等を鑑賞する機会が極端に少ない。本町の各島にてクラシックコンサートを開催し、地域の子どもからお年寄りまでが体験することにより、生涯教育の推進と町民生活の質の向上を図る。							
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()							
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	
	予算の状況	(a)当初予算額	3,965					
		(b)予算現額	3,965					
		(c)増減額(b-a)	0					
		(d)繰越額	-					
		A. 計(b+d)	3,965					
	B. 執行済額		3,957					
	うち交付金充当額		3,165					
	次年度繰越額		-					
	執行率(%) (B/A)		99.8%					
予算の状況の説明		事業計画の内容どおり適正に執行が行えたと考える。						
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況					
				27年度	28年度	29年度	30年度	
	西表島でのクラシックコンサートの開催	目 標	(コンサート開催)	()	()	()	()	
		実 績	コンサート開催					
		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
	達成状況説明	町内では初のクラシック演奏会で、開催時期が2月(冬季)ということもあり、海上輸送・陸上搬送の面で不安はあったが計画どおり開催でき目標達成できた。						
	成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	27年度	28年度	28年度	目標値(年度)
西表島クラシックコンサート開催での参加者 200名		目 標	()	(200名)	()	()	()	
		実 績		394				
【参考指標】		目 標	()	()	()	()	()	
		実 績						
進捗状況説明		本物のクラシック音楽演奏を間近で鑑賞することができ、クラシック音楽に興味と関心が増し、子供からお年寄りまで幅広い層で情操教育に繋がるものと期待できる。						

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	町内で初のクラシック演奏会であり、海上輸送・陸上搬送の面で不安はあったが、特に大きな問題も無く、計画どおり開催することができた。	椅子席と座敷シートを設置したが、入客者の年齢幅が広いためどちらが適しているのか検証する必要がある。
今後の取り組み方針 今回の施設は音響設備や舞台設備が整った小規模ホールであったため会場設営等が安易にできたが、他の地域での開催の場合は収容数の観点より学校体育館施設等での開催となるため、開催時期の検討や演奏会に必要な音響設備・機材等の手配など、入念な事前調整が必要となる。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象事業費</th><th>交付金充当額</th><th>市町村負担金</th><th>交付対象外経費</th></tr> <tr> <td>3,957</td><td>3,957</td><td>3,165</td><td>792</td><td>0</td></tr> </table> 竹富町 3,957千円 委託料 3,957千円 石垣フィルハーモニー管弦楽団 3,957千円 〔オーケストラんどin西表島開催〕					総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費	3,957	3,957	3,165	792	0
総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金	交付対象外経費										
3,957	3,957	3,165	792	0										
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○本事業は専門的かつ特殊な事業内容であり、円滑に実施可能な団体等が郡内圏域において他に存在しないことから随意契約とした。選定は妥当と考えられる。 ○予算規模については、専門的かつ特殊な事業内容、また離島という地理的事情により資機材の輸送等を考慮すると3,957千円は適正な規模だと考えている。 ○費目・使途については、事業目的の達成の観点から必要なものののかについて、支出等に関する書類を確認し適正であったと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分) 検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-①	竹富町和牛生産推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-3-(7)-ア	
担当部課名	農林水産課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	おきなわブランドの確立と生産供給体制の整備 Ⅲ-1-(6)	
事業内容	優良母牛の導入支援(購入費の1/2以内上限30万円)及び口蹄疫の進入防止対策を実施し、本町の基幹産業である農業畜産の生産基盤整備、環境整備を強化することで産業の振興を図る。						
実施方法	■直接実施 ■委託 ■補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	9,463	15,524	19,884	28,647	
		(b) 予算現額	9,463	15,524	31,884	47,248	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	12,000	18,601	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	9,463	15,524	31,884	47,248	
	B. 執行済額		9,369	14,290	29,526	40,817	
	うち交付金充当額		7,494	11,432	23,621	32,653	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		99.0%	92.1%	92.6%	86.4%	
予算の状況の説明		子牛セリ価格高騰したことに伴い、優良母牛の導入支援の上限額が変更したため、予算の増額補正を行った。 優良母牛導入助成金の導入額、防疫対策委託料の残額が6,431千円発生した。 当初計画していた事業内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況を鑑みて適正であったと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	・離島港湾靴底消毒用マット設置 4カ所(竹富・小浜・黒島・波照間)	目 標	(消毒用マット設置)	(消毒用マット設置)	(消毒用マット設置)	(消毒用マット設置)	
		実 績	消毒用マット設置	消毒用マット設置	消毒用マット設置	消毒用マット設置 6カ所(西表東部・西部追加)	
	・優良遺伝繁殖雌牛導入支援	目 標	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	(導入助成)	
		実 績	導入助成	導入助成	導入助成	導入助成	
達成状況説明	・町内の港湾に靴底消毒用マットの設置、優良遺伝繁殖雌牛の導入費を一部助成したことで、竹富町畜産牛のブランド力及び防疫対策による信用の向上を図った。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(33年度)
	・口蹄疫等の侵入リスク低減 ・優良遺伝繁殖雌牛導入助成頭数142頭 (進捗率 69.8%) (H33年度迄導入目標750頭: H24～26年199頭導入)	目 標	()	(40頭)	(60頭)	(142頭)	(750頭)
		実 績		63頭	93頭	125頭	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・離島港湾施設に靴底消毒用マットを設置し防疫対策を図っている。 ・優良遺伝繁殖雌牛導入の目標が当初142頭であったが、125頭の導入が出来た。今後も継続して行うことにより、竹富町として牛のブランド力を向上し、販売価格を高めながら畜産経営基盤の向上を図る。 ・当初目標頭数に満たなかった理由として、牛のセリ価格の高騰により優良母牛を落札することができなかったことから頭数減少となった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	・優良遺伝繁殖雌牛導入事業については、ここ数年間子牛のセリ価格が高騰しているため、購入費がかなり高額になっている状況が続いている。	子牛セリ価格高騰のため、購入費用の助成額の増額を検討する必要がある。
今後の取り組み方針		
特定家畜伝染病の口蹄疫等を防ぐため、今後も竹富町内の港湾に靴底消毒用マットの管理委託による防疫対策を実施する。 優良遺伝繁殖雌牛導入については、竹富町の和牛改良推進を図るために、この導入事業を継続していきたい。また、近年の子牛セリ価格を鑑み、助成額の増額を検討したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
40,817	40,817	32,653	8,164	0

竹富町
40,817千円

委託料
2,135千円

竹富・黒島・小浜・波照間・西表東部・西部
個人業務委託者 7名
2,135千円

防疫対策にかかる
業務委託料

委託料
38,385 千円

沖縄県農業協同組合
38,385千円

導入農家

優良遺伝繁殖雌牛導入
業務にかかる委託料

事務費
297千円

需用費

資金の 使途の 流れ、 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託業務者は各地区肉用牛生産組合で勘案した上で選定しており、妥当であったと考えている。 ・子牛の価格の高騰が続く中ではあるが、予算的には妥当な金額であったと考える。 ・費目・使途については事業目的達成の観点から必要なものなのか等について額の確定時において支出等に関する書類により確認、適正であった。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	－	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-②	竹富町ペット適正飼養推進事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-ア	
担当部課名	自然環境課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	生物多様性の保全	
事業内容	西表島の貴重な生態系の保全、特に絶滅危惧種であるイリオモテヤマネコの生息、生育を保全するため、西表島におけるペット適正飼養を推進する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,006	6,004	6,175	7,622	
		(b) 予算現額	6,004	6,001	7,622	7,622	
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 2	▲ 3	1,447	0	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
	A. 計 (b+d)		6,004	6,001	7,622	7,622	
	B. 執行済額		6,004	6,001	7,622	7,622	
	うち交付金充当額		4,803	4,800	6,097	6,097	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		100.0%	100.0%	100.0%	100.0%	
予算の状況の説明		事業計画どおりに執行を行った。適正な予算措置であったと考える。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
				24年度	25年度	26年度	27年度
	逸出ペットの保護収容	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	収容個体の各種ウイルス検査等	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	・ペット適正飼養推進会議の開催 1回	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
	・適正飼養普及啓発講演会の開催 4回	目 標	(実施)	(実施)	(実施)	(実施)	
		実 績	実施	実施	実施	実施	
達成状況説明	逸出ペットの保護収容を地域住民の協力により実施し、獣医師を西表島に常駐派遣し収容個体のウイルス検査・避妊去勢処理等の医療行為を実施した。又、関係者による適正飼養推進会議やペット適正飼養に関する普及啓発講演会を実施した。本事業の実施により、ねこ登録率は98%と高く、イリオモテヤマネコへ家ねこ由来の病気(ねこエイズ・ねこ白血病・他)の感染が未然に防止されている。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(23年度)	25年度	26年度	27年度	目標値(年度)
	・各検査や適正飼養に関する啓蒙活動を展開し、逸出ペットの発生を年間10頭以内に抑制する。	目 標	(15頭)	(10頭以内)	(10頭以内)	(10頭以内)	()
		実 績		19頭	16頭	15頭	
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	西表島内で飼育されるネコの98%が登録管理されており、イリオモテヤマネコへの家ネコ由来の病気の感染も発生していない。しかし、逸出ペットの保護捕獲数は依然として横ばいである。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	①本事業によるペット適正飼養に関する啓蒙活動と併せ、平成28年4月の国立公園拡張(町内のほぼ全域が国立公園に指定)や、平成30年の登録を目指す世界自然遺産にむけて、ペット適正飼養や自然環境保護にたいする地元住民の機運もたかまりつつある。 ②全国的に、『ねこブーム』が発生し、犬の飼育頭数をねこが上回る状況下にあるため、引続き本事業による西表島島内のペット適正飼養を普及啓発がさらに重要となってくると考えられる。	①西表島内へのネコ持込みの中継地点である石垣市内(空港・離島ターミナル等)でも、啓蒙活動の必要性があると考えられる。 ②短期移住者の就労先であるリゾートホテル等において事業主に対し本事業に関する説明、協力依頼を実施することも、逸出ペット抑制に有効であると考えられる。
今後の取り組み方針 西表島内でのペット適正飼養を普及啓発し逸出ペットの保護捕獲を進め、特別天然記念物であるイリオモテヤマネコをはじめとする希少野生動物の保護と国立公園内の生物多様性の保全推進を図る。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
	総事業費	交付対象事業費		交付対象外経費
		交付金充当額	市町村負担金	
	7,622	7,622	6,097	1,525
竹富町 7,622千円 委託料 7,622千円 NPO法人 どうぶつたちの病院 7,622千円 西表島内の家猫保護等活動業務				
資金の 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託事業者は随意契約であったが、実績、知識等を勘案し選定している。選定については妥当であったと考える。 ・見積書により予算積算。適正規模であった。 ・費目、使途については事業目的達成の観点から必要経費であるのか額の確定時において支出等に関する書類により検査、適正であった。	
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。		
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。		
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-③	観光道路美化推進事業			沖縄21世紀ビジョン 基本計画該当箇所	第3章-1-(1)-イ	
担当部課名	建設課	事業実施 (予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針 該当箇所	陸域・水辺環境の保全	
事業内容	魅力的な観光地づくりの推進を図るため、観光客が特に往来する観光道路の美化清掃と植栽を実施する。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+ 「市町村負担」 ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算 の 状 況	(a)当初予算額	4,696	56,180	29,611	30,477	
		(b)予算現額	6,859	19,076	29,547	26,763	
		(c)増減額(b-a)	2,163	▲ 37,104	▲ 64	▲ 3,714	
		(d)繰越額	—	0	0	0	
		A. 計(b+d)	6,859	19,076	29,547	26,763	
	B. 執行済額		6,858	19,075	24,192	26,762	
	うち交付金充当額		5,486	15,259	19,353	21,409	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率(%) (B/A)		100.0%	100.0%	81.9%	100.0%	
予算の状況の説明		予算減額が発生しているが、全て入札残による不用額である。特に竹富一周線の路線が大幅に安価で落札したのが1番の原因である。 事業計画内容はすべて実施した他、活動目標、成果目標の達成状況は全て達成している。					
活動目標 (指標) 及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	観光道路(4路線)の美化および植栽整備 ・竹富一周線:3,285m ・細崎線:3,033m ・住吉1号線:2,512m ・波照間海岸線:4,078m	目 標	(道路美化保全)	(道路美化保全)	(道路美化保全)	(道路美化保全)	
		実 績	道路美化保全	道路美化保全	道路美化保全	道路美化保全	
			目 標	()	()	()	
			実 績				
達成 状 況 説 明	主要観光アクセス路として利用されている自然景観にマッチした快適な歩行空間を創出し、島内観光の質向上を図るため4路線(12, 908m)美化作業及び400mの花苗植栽を行い、目標を達成した。						
成果目標 (指標) 及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値 (年度)	25年度	26年度	27年度	目標値 (年度)
	魅力溢れる観光地の形成	目 標	()	()	()	(道路美化 保全)	()
		実 績				道路美化保全	
	【参考指標】 美化清掃距離 植栽本数	目 標	()	(12,900m)	(12,908m 8,700本)	(12,908m 7,340本)	()
		実 績		12,900m	12,908m 8,700本	12,908m 7,340本	
	進 捗 状 況 説 明	観光地へのアクセス道路の清掃及び植栽美化をしたことにより、観光地景観の満足度向上が期待できる。平成27年度の花苗植栽は400mであり、植栽本数7, 340本完了。 事業実施の結果マルチングシートを使うことにより雑草の抑制を行うことができた前年は花の植栽を行っていたが一年持たず雑草に覆われていたが、低木のミニサンダンカ植栽をすることにより年間花がみれる状態を作ることにより成功し景観的にもよくなった。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	植栽美化後は花への水やり除草等及び清掃の維持管理が課題である。	今回はマルチングシートを張り雑草の低減をはかる手法を行い、花苗の植栽においては一年に2, 3回咲く低木の沖縄に適したミニサンダンカを植栽したことにより前回より雑草の繁殖を抑えることができたが、それでも雑草は隙間のないところからも生えてくるので数か月に1回は雑草の引き抜き水やりは必要であると思われる。その点については業者との委託も考えている。
今後の取り組み方針		
島別に委託することにより、清掃回数及び植栽美化延長の増加を目指し、さらなる自然景観にマッチした快適な歩行空間を創出し、多くの観光客の満足する観光道路を維持していく。事業実施の結果マルチングシートを使うことにより雑草の抑制を行うことができ、また前年は花の植栽を行っていたが1年待たず雑草に覆われていたが低木のミニサンダンカ植栽することにより年間花が見れる状態を作ること成功し景観的にもよくなった。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費
26,762	26,762	21,409	5,353	0

竹富町
26,762千円

委託料
26,762千円

有限会社 宮八造園土木
4,860千円

有限会社 大
11,210千円

株式会社 明新建設
4,644千円

西表造園土木
6,048千円

歩道・路肩の除草及び
花の植栽(細崎線)

歩道・路肩の除草及び

歩道・路肩の除草及
び

歩道・路肩の除草及び

資金の 流 れ、 点 検 評 価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明
	○	支出先の選定方法は妥当か。	・委託先の業者は、町内等において実績がある業者から指名競争入札により選定しており、妥当であった。 ・積算により予算算出しており、規模は適正である。 ・委託業務においては、契約書及び仕様書のとおり実施されており、事業目的に必要な費目・使途であり、検査にも合格している。
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。	
	-	受益者との負担関係は妥当であるか。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。	

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-④	文化財美化保全事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部課名	教育委員会総務課	事業実施(予定)年度	平成24～33年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	本町が有する文化財の美化保全を推進し、本町の特有の歴史文化や景観を観光資源として利活用し観光産業の振興を図る。						
実施方法	☐ 直接実施 ☒ 委託 ☐ 補助 ☐ 負担 ☐ その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			24年度	25年度	26年度	27年度	28年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	3,250	3,005	2,994	2,930	
		(b) 予算現額	3,250	3,005	2,930	1,930	
		(c) 増減額 (b-a)	0	0	▲ 64	▲ 1,000	
		(d) 繰越額	—	0	0	0	
		A. 計 (b+d)	3,250	3,005	2,930	1,930	
	B. 執行済額		2,272	1,570	1,515	1,547	
	うち交付金充当額		1,817	1,256	1,212	1,237	
	次年度繰越額		0	0	0	0	
	執行率 (%) (B/A)		69.9%	52.2%	51.7%	80.2%	
予算の状況の説明		それぞれの実施地区において実施回数が減ったことにより、当初予算額より減額している。 実施箇所については計画の目標を達成できたと考えている。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			24年度	25年度	26年度	27年度	
	文化財美化保全実施箇所数 ・国指定文化財:4箇所 ・県指定文化財:1箇所 ・町指定文化財:8箇所	目 標	(13箇所)	(12箇所)	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所)	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所)	
		実 績	16箇所	17箇所	国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所	国指定文化財:4箇所 県指定文化財:2箇所 町指定文化財:8箇所 国登録文化財:1箇所 その他の史跡:6箇所	
			目 標	()	()	()	()
			実 績				
達成状況説明	平成27年度は4地区で美化保全事業を実施することができた。 実施箇所については、地域より要望のあった箇所を加えて計画以上の箇所で実施する事ができた。 全て地区公民館に委託して実施し、地域住民の手によって地域の文化財等の美化保全を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	地域の歴史や文化にふれる事のできる環境の充実化	目 標	()	()	(史跡指定地等 の環境美化)	()	()
		実 績			美化作業の実施		
	【参考指標】 文化財美化保全実施箇所数 ・国指定文化財:4箇所 ・県指定文化財:1箇所 ・町指定文化財:8箇所	目 標	()	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所)	(国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所)	()	()
		実 績		国指定文化財:4箇所 県指定文化財:1箇所 町指定文化財:8箇所	国指定文化財:4箇所 県指定文化財:2箇所 町指定文化財:8箇所 国登録文化財:1箇所 その他の史跡:6箇所		
	進捗状況説明	実施地区については、計画どおり4地区で実施できた。実施箇所については、地域公民館と実施箇所を検討して実施したところ、計画以上の場所で実施する事ができた。 秋季と初春に実施した美化作業を行なった指定文化財をとおして、その時期に訪問する観光者に本町の文化を理解してもらえる環境を提供することができた。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	文化財の愛護意識を地域で高めてもらうため、地域公民館が実施主体となり、住民自らの手による文化財等美化保全活動を実施してもらった。 観光客に地域の文化遺産にふれる環境づくりという観点については、観光利用状況を地域公民館より聴取、協議し、実施箇所を選択した。 実施時期については地域公民館の都合に合わせて実施したが、効果的な実施を考えた場合、観光客のより多く訪れる時期に合わせの実施を検討する必要がある。	引き続き地域住民が主体となって美化保全を実施すべきと考えるが、地域住民の手だけでは間に合わない場所や時期については他の業者委託によって効果的に目的を達成できる文化財もあると考えられるので、地域住民とも調整しながら、実施箇所や実施方法を検討したい。 観光客の視点からの検討をさらに加える必要があると考えるが、管理人が常駐する場所ではないため、観光業従事者を通した意見聴取等を検討したい。
今後の取り組み方針		
観光関連業者と連携を強化したり、地域住民の学習機会に結びつける事により、文化財のさらなる利活用を促進したい。 美化保全事業を実施する文化財が、なるべく長期間にわたって見学に適した状況が維持できるよう、実施時期や実施方法を検討していきたい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)				
竹富町 1,547千円 委託料 1,547千円 竹富公民館 706千円 波照間公民館 221千円 祖納公民館 420千円 鳩間公民館 200千円 竹富島内文化財の清掃業務等委託 波照間島内文化財の清掃業務等委託 西表島祖納地区内文化財の清掃業務等委託 鳩間島内文化財の清掃業務等委託				
	総事業費	交付対象事業費	交付金充当額	市町村負担金
	1,547	1,547	1,237	310
				交付対象外経費
				0
資金の流 点検 評価	評価	点 検 項 目	評価に関する説明	
	○	支出先の選定方法は妥当か。	○委託先については、計画どおり地域公民館に委託して実施した。地域の文化財愛護意識の高揚を図るという観点から妥当と考えている。	
	○	予算規模は事業内容に合った適正な規模となっているか。	○観光客が見学するため美化保全が必要な箇所を実施を計画しており、予算規模は適正と考えている	
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。	○事業は精算払いで、費目・使途が事業目的に即したものが確認し、適切に支出した。	
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。		

市町村名	竹富町						
平成 2 7 年度沖縄振興特別推進交付金事業(市町村分)検証シート【公表用】							
事業番号・事業名	4-⑤	ピサダ道保存整備事業			沖縄21世紀ビジョン基本計画該当箇所	第3章-1-(4)-ア	
担当部署名	教育委員会総務課	事業実施(予定)年度	平成26～27年度		沖縄振興基本方針該当箇所	沖縄の文化の源流を確認できる環境づくり Ⅲ-3-(2)	
事業内容	西表祖納集落に隣接するピサダ道は、高台に集落が位置していた時代に利用されていた歴史の道である。当該文化財の保存のために補修工事を行うとともに、津波災害時に高台に避難する道路としても利用できるよう整備を行う。						
実施方法	■直接実施 □委託 □補助 □負担 □その他 ()						
予算額・執行額 【単位:千円】 (「交付金」+「市町村負担」ベース)			26年度	27年度	28年度	29年度	30年度
	予算の状況	(a) 当初予算額	6,001	16,663			
		(b) 予算現額	5,981	16,504			
		(c) 増減額 (b-a)	▲ 20	▲ 159			
		(d) 繰越額					
		A. 計 (b+d)	5,981	16,504			
	B. 執行済額		4,287	16,484			
	うち交付金充当額		3,430	13,187			
	次年度繰越額		0	0			
	執行率 (%) (B/A)		71.7%	99.9%			
予算の状況の説明		当初予算より、入札によって生じた残額を12月補正で減額している。					
活動目標(指標)及び達成状況	H27活動目標(指標)		達成状況				
			26年度	27年度	28年度	29年度	
	保存修理工事の実施	目 標	測量調査・実施設計の実施	(工事の実施)	()	()	
		実 績	測量調査・実施設計の実施	工事の完成			
		目 標	()	()	()	()	
		実 績					
達成状況説明	平成27年度事業では、平成26年度に実施した遺構の測量調査と設計業務の成果に基づき、遺構の修理や見学者に供するための付帯施設を整備する工事を実施した。						
成果目標(指標)及び進捗状況	H27成果目標(指標)		基準値(年度)	26年度	27年度	28年度	目標値(年度)
	保存修理工事の完了 ・破損箇所の修復 ・排水施設の整備 ・手摺の整備	目 標	()	(実施設計の完了)	(工事の完了)	()	()
		実 績		実施設計の完了	工事の完了		
	【参考指標】	目 標	()	()	()	()	()
		実 績					
	進捗状況説明	・排水等の影響によって生じた石敷き遺構の破損箇所を修復するとともに、今後の破損を防ぐために排水施設の整備を行った。 ・手摺付きの階段を整備する事により、当該史跡内を見学者が安全に往来できるようになった。 ・史跡の入口に説明板を設置することにより、見学者に史跡の情報を伝える事ができるようになった。英語、中国語、韓国語でも掲載しており、外国からの観光客にも対応できるようにしている。					

取組の検証	推進上の留意点(推進上の問題、外部環境の変化)	改善余地の検証(効率の更なる向上の視点)
	平成26年度に実施した遺構測量調査と設計に基づいて工事を実施したが、地形や石材等は自然に近い状態を利用するため、現場で合わせながらの工事が多いため、確認と打合せをしながら施工した。 遺構の保存修理の方法については十分に検討した結果の設計であり、その設計に従って工事を進めたが、それ以外の新規付帯施設となる排水施設や階段の整備方法については、地域より変更の要望があったため、竹富町、工事受託者、現場技術監理者で協議し、要望に沿う形状に変更した。	平成27年度までの整備工事によって、遺構の現況保存と見学者が往来する際の安全性確保という目標を満たす事ができたが、より史跡としての価値を高めるために、戦時中に行われた改変前の姿に復元するところまで整備を継続して欲しいという要望が地域よりあがっている。
今後の取り組み方針		
地域の要望に応えるべく、戦争前の状態への復元まで事業を継続したいと考えているが、そのためには戦争遺跡としての価値を保存する方法の検討や、復元の根拠となる遺構の確認調査が必要なため、遺構確認のために発掘調査を実施するとともに、復元方法について文化財保護審議会や学識者の意見を参考にしながら検討したい。		

資金の流れ (資金の受け取り先が何を行っているかについて補足する)(単位:千円)														
<table> <tr> <th>総事業費</th><th>交付対象 事業費</th><th>交付金 充当額</th><th>市町村 負担金</th><th>交付対象 外経費</th></tr> <tr> <td>16,484</td><td>16,484</td><td>13,187</td><td>3,297</td><td>0</td></tr> </table>					総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費	16,484	16,484	13,187	3,297	0
総事業費	交付対象 事業費	交付金 充当額	市町村 負担金	交付対象 外経費										
16,484	16,484	13,187	3,297	0										
竹富町 16,484千円 委託料 1,555千円 工事費 14,904千円 事務費 25千円 有限会社 ティガネー 1,555千円 株式会社 屋 建 設 14,904千円 〔 旅費(現場確認、打合せ) 〕 〔 ピサダ道保存修理工事現場技 術監理 〕 〔 ピサダ道保存修理工事 〕														
資金 使途の 流れ、 点検 評価・	評価	点 検 項 目	評価に関する説明											
○	○	支出先の選定方法は妥当か。	○工事については指名入札によって業者を選定している。現場技術監理については随意契約を結んでいるが、当該史跡の調査実績のある業者を選定しており妥当だと考えている。 ○予算規模については、大きな増減や不要額もなく適正と考えている。 ○設計書および仕様書のとおり工事が施工されており、使途は事業目的に即したものと考えている。											
	○	予算規模は事業内容に見合った適正な規模となっているか。												
	—	受益者との負担関係は妥当であるか。												
	○	費目・使途が事業目的に即し真に必要なものに限定されているか。												